

令和5年度広島市公文書館企画展
平和記念公園ができるまで

主催・会場：広島市公文書館 会期：令和5年10月23日（月）～令和6年2月2日（金）

No.	タイトル	資料の概要
1	被爆後の中島地区【写真】	基町の広島商工会議所（当時は広島県商工経済会）の建物から南西方面を撮影した写真。爆風をほぼ真上から受けて倒壊を免れた旧産業奨励館の建物（現原爆ドーム）、焼け野原となった中島地区の様子が写っている。 昭和20年(1945年)10月1日または2日、林重男撮影、広島平和記念資料館提供
2	爆心地周辺の公園構想に関する新聞記事【複製】	昭和20年(1945年)9月2日付の中国新聞は、広島県が原爆投下により最も被害が大きかった爆心地附近を記念区域として存置する方針であると報じている。 翌年2月27日付の中国新聞では、同月25日に開催された第1回の広島市復興審議会において、爆心地に公園、記念施設を設ける等の都市計画案が発表されたと報じている。
3	第1回広島市復興審議会の会議録	昭和21年(1946年)同年2月15日、復興計画に関する市長の諮問に対し助言・答申を行う機関として、広島市復興審議会が設置された。これは、同月25日に開催された第1回の復興審議会議事録。（「復興審議会一件」より） 「復興審議会一件」には、昭和21年から同23年3月の解散までの復興審議会の議事資料等が綴じられている。
4	緑地公園・墓苑の位置等の決定報告	昭和21年(1946年)6月24日付で、文理科大学及び各種専門学校の位置、緑地公園・墓苑の位置等に関して、広島市復興審議会が広島市長に中間報告したもの。全4項のうち、第2項で緑地公園の配置等については、復興局が調査して立案したものを承諾し、「別紙図面」のとおり意見が一致したと報告している。（「復興審議会一件」より）
5	広島都市計画街路網図【複製】	昭和21年(1946年)、広島市復興審議会に市が提出した緑地公園・墓苑の位置を示した地図。復興計画公園として決定した場所は黒い線で囲まれた緑色の範囲で示されており、中島地区のほか、現中央公園の一角などが指定されている。（「復興審議会一件」より）
6	昭和22年当時の公園計画	復興第2年号として発行された『昭和22年版 市勢要覧』に掲載された広島市の復興計画。この時点で広島市が中島地区を「平和記念公園」とする計画だったことが分かる。（『昭和22年版 市勢要覧』 昭和22年(1947年)12月 広島市発行 より）
7	ハワイ広島戦災難民救済会へ援助を依頼する書簡案	広島市長と市議会議長の連名で救済会の会長に宛てて送られた書簡案の一部。ハワイで広島戦災難民救済会が結成されたことへの感謝と、広島市の復興の現状、将来の計画を伝えている。爆心地の一角を平和記念公園としてここに記念館を建設すること、建設については懸賞募集を行う計画であること等が記されている。書簡は昭和23年(1948年)5月18日航空便で発送された。（「昭和23年度 企画書類綴」（平和協会資料1）より）
8	広島市平和記念公園及び記念館設計懸賞募集要項	広島市が昭和24年(1949年)5月20日から7月20日まで公募した、広島市平和記念公園及び記念館の設計懸賞（設計競技）の募集要項。2部ある要項のうち一方の表紙には「元産業奨励会館、之を爆撃の記念に残す」と鉛筆書きのメモがある。設計競技では、公園の造園と平和記念館の設計が求められた。（佐藤重夫資料） 昭和24年5月 広島市
9	佐藤重夫宛書簡	佐藤重夫の代わりに現況写真と平面図を入手した池田建設株式会社広島出張所長から佐藤に宛てられた書簡。広島市の担当職員から伝えられた応募の注意事項が記されている。昭和24年(1949年)6月6日付。（佐藤重夫資料）
10	昭和24年頃の中島地区【原本・拡大複製】	広島商工会議所の屋上から、昭和24年(1949年)当時の原爆ドームと中島地区一帯を撮影した3枚組の写真。原爆ドームの周囲に並ぶ木造の建物、中島地区の平和広場に建設された平和祭のステージの「No More Hiroshimas」の文字や、周辺に住宅が建ち始めている様子が写っている。この写真は、設計競技の応募者を対象として、希望者に100円で配付された。（佐藤重夫資料）
11	佐藤重夫の応募作品 広島平和記念公園及び記念館鳥瞰図（彩色鳥瞰図）【複製】	佐藤重夫が平和記念公園及び記念館の設計競技のために作成し、応募した作品。敷地全体を見渡す鳥瞰図。原本1,092mm×789mm。昭和24年(1949年) 佐藤重夫作
12	佐藤重夫の応募作品 配置図（公園内施設配置図）【複製】	佐藤重夫が平和記念公園及び記念館の設計競技のために作成し、応募した作品。縮尺1/600の配置図（全体平面図）。原本1,089mm×791mm。昭和24年(1949年) 佐藤重夫作
13	佐藤重夫の応募作品 平和記念館設計図（1/600施設平面図・立面図）【複製】	佐藤重夫が平和記念公園及び記念館の設計競技のために作成し、応募した作品。平和記念館の立面図と平面図（建築略設計図）。原本1,099mm×794mm。昭和24年(1949年) 佐藤重夫作
14	1等となった丹下グループの設計競技応募作品の写真	昭和24年（1949年）の設計競技で1等に入選した丹下健三らのグループが作成した作品を撮影した写真。応募図面の原本は見つかっていない。 ・公園の鳥瞰図 ・施設配置図 ・記念施設の立面図・断面図・平面図 いずれも図面の端に「19497」の文字が記されており、裏面には丹下健三の署名がある。（藤本千万太資料）

No.	タイトル	資料の概要
15	広島平和記念都市建設事業計画案（昭和24年度時点）	広島平和記念都市建設法に基づいて実施する平和記念都市建設都市計画事業の5か年計画（昭和25年(1950)年度から同29年度）の案。広島市が作成し、昭和24年10月3日に開催した第1回平和文化都市建設協議会に提出したもの。「中島公園」については、平和都市広島を象徴する事業として中島、中央両公園を一括して平和記念公園とし、平和記念館、記念碑、運動競技場等の平和記念施設を建設すると記されている。（『昭和24年版 市勢要覧 -広島平和記念都市建設法制定記念号-』 昭和25年(1950)3月 広島市発行 より）
16	丹下健三書簡	丹下健三が昭和25年(1950)年4月7日付で広島市の秘書課職員に宛てた書簡。平和会館の建設経費に関する建設省都市局長との対談の内容を伝え、広島市の方針を確認している。（「丹下健三書簡綴」（藤本千万太資料）より）
17	Peace Park Project【複製】	平和記念公園の設計競技で1等に選ばれた丹下健三らが構想した、中島・基町地区を含む平和記念公園等の全体図。現平和記念公園内には、平和会館（Peace Hall）、平和広場（Peace Square）、平和塔並びに慰霊堂（Peace Arch & Memorial Chapel）が書き込まれている。昭和25年(1950)年5月25日作成か。
18	広島平和都市建設構想案 昭和25年10月	広島市市長室が、被爆後5年間にわたり検討してきた都市建設の方針を踏まえ、平和都市としての広島のあり方や課題、具体的方策等の構想をまとめたもの。平和公園については、平和の源泉たるにふさわしい緑園とし、城跡や原爆遺跡などがある立地を生かし、平和運動の中心的役割を果たす施設とこれと関わりの深い文化施設を造る等の構想が記されている。（藤本千万太資料） 昭和25年(1950)年10月 広島市作成
19	広島平和記念都市建設事業5箇年計画の修正案（昭和27年8月時点）	広島市は平和記念都市建設都市計画事業として実施する平和記念施設の整備、重要幹線道路の建設、戦災復興事業等について、昭和25年(1950)年度からの5か年計画を策定し、国に提出していた。しかし物価高騰の影響等から予算額の修正を余儀なくされることがあった。これは昭和27年（1952年）8月、前年度に提出した計画書の予算額を修正するために作成された修正案。「広島平和記念都市5箇年計画表」の右欄外には当初の計画から増えた額が朱書きされている。（「昭和27年度 広島平和記念都市建設計画書」より）
20	平和記念施設事業の進捗状況	この頃の市勢要覧には、前年に平和記念都市建設都市計画事業として実施された各事業の決算額等が記載されていた。これによると、昭和30年(1955)年度の平和記念施設整備事業では、平和記念公園整備にのみ予算が執行されていることが分かる。翌31年度は平和記念施設整備予算に関する記述がないことから、平和記念都市建設都市計画事業としての公園整備は昭和30年度に完了したことが分かる。（『昭和31年版 市勢要覧』 昭和32年(1957)年3月 広島市発行 より）
21	昭和26年 建設中の平和記念資料館【写真】	昭和26年(1951)年2月に建設が始まった平和記念資料館（現平和記念資料館本館）の写真。建物の工事は進んでいるが、周辺は雑草が茂り、手つかずになっている。昭和26年(1951)年12月10日 広島市広報課撮影
22	昭和27年 慰霊碑に参拝する婦人たち【写真】	原爆死没者慰霊碑（広島平和都市記念碑）は、昭和27年(1952)年3月に着工し、同年8月6日の慰霊式ならびに平和記念式で除幕式が行われた。慰霊碑の中には原爆死没者名簿が納められた。昭和27年(1952)年10月8日 広島市広報課撮影
23	昭和28年 整備が進む平和記念公園【写真】	基町の商工会議所屋上から中島方面を撮影した写真。平和記念資料館（現平和記念資料館本館）の建設が進み、慰霊碑周辺も整備されつつあるが、手前（北側）にはまだ多くの民家が残っている。昭和28年(1953)年8月5日 広島市広報課撮影
24	昭和29年 建設中の平和記念資料館【写真】	商工会議所屋上から、建設中の平和記念資料館（現平和記念資料館本館）を撮影した写真。左端には、建設が進む平和記念館（現平和記念資料館東館）が写っている。一方で、慰霊碑の手前（北側）にはいまだ多くの民家が残っており、人々の生活の様子がうかがえる。資料館は昭和30年(1955)年8月6日に竣工、同24日に開館した。昭和29年(1954)年12月2日 広島市広報課撮影
25	中国電力株式会社屋上から撮影された公会堂・平和記念資料館・平和記念館【写真】	小町の中国電力株式会社屋上から、北西方向を撮影した写真。建設中の公会堂、平和記念資料館（現平和記念資料館本館）、平和記念館（現平和記念資料館東館）の建物が写っている。昭和30年(1955)年2月3日 広島市広報課撮影
26	昭和30年 8月6日の資料館周辺の様子【写真】	平和記念日に平和記念資料館（現平和記念資料館本館）から平和大通り（百メートル道路）側に向かって撮影した写真。昭和30年(1955)年5月に平和記念館（現平和記念資料館東館）が、8月に平和記念資料館が完成した。記念館前には、6日から3日間開催された平和美術展の看板が見える。昭和30年(1955)年8月6日 明田弘司撮影
27	昭和31年 式典で祈りを捧げる参加者【写真】	昭和31年(1956)年の広島市原爆死没者慰霊式ならびに平和記念式の会場で黙とうする参加者を撮影した写真。周辺には植えて間もない樹木が写っている。慰霊碑の北側には広島市の幔幕が張られている。昭和31年(1956)年8月6日 広島市広報課撮影
28	昭和32年 8月6日の平和記念公園周辺の様子【写真】	昭和32年(1957)年8月6日に商工会議所の屋上から原爆ドーム、平和記念公園等を撮影した写真（2枚の写真を結合）。相生橋上には、僧衣をまとった宗教者等が公園に向かって進む様子が写っている。昭和32年(1957)年8月6日 明田弘司撮影
29	昭和33年の平和記念公園【写真】	昭和33年(1958)年に上空から撮影された平和記念公園。平和大通りと平行するように平和記念館（現平和記念資料館東館）、平和記念資料館（現平和記念資料館本館）、公会堂が配置されているのが分かる。建物、園路、植栽、河岸が整備された平和記念公園とは対照的に、対岸にはバラックが残っている。昭和33年(1958)年7月31日 広島市広報課撮影

所蔵・提供等に特に記載のないものは、公文書館所蔵資料です。

原本保護のため、会期の途中から複製資料に置き換える場合があります。